



雪印メグミルク

## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2019年8月9日

上場会社名 雪印メグミルク株式会社 上場取引所 東 札  
 コード番号 2270 URL <http://www.meg-snow.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 啓治  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 渡邊 健太郎 TEL 03-3226-2124  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	154,698	2.5	5,069	6.5	5,894	16.8	3,825	13.2
2019年3月期第1四半期	150,984	0.8	4,757	△18.0	5,046	△17.7	3,379	1.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 3,180百万円 (△4.6%) 2019年3月期第1四半期 3,335百万円 (△14.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	56.50	—
2019年3月期第1四半期	49.83	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	361,880	169,169	45.9	2,455.13
2019年3月期	359,445	168,782	46.3	2,456.35

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 166,211百万円 2019年3月期 166,295百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	311,000	1.8	10,200	6.4	10,900	6.3	6,700	4.3	98.97
通期	615,000	1.9	18,000	4.5	19,500	2.6	12,000	11.6	177.25

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	70,751,855株	2019年3月期	70,751,855株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,052,141株	2019年3月期	3,051,487株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	67,699,960株	2019年3月期1Q	67,809,524株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

(補足説明資料)

2020年3月期 第1四半期決算短信 補足説明資料

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、景気は緩やかに回復しておりますが、輸出を中心に弱さもみられます。

今後も緩やかな回復の継続が期待される一方で、国内では海外経済の不確実性による輸出・生産に対する懸念が、国外では通商問題の動向が世界経済に与える影響や中国経済の先行き、金融資本市場の変動の影響に対する懸念があります。

個人消費は実質総雇用者所得の緩やかな増加、および雇用情勢の改善を背景に持ち直しているものの、消費者マインドは弱含んでおり、節約の動きも継続して見られます。

食品業界においては、人手不足を背景とした物流コストや人件費に加えて、原材料コストの上昇も続いていることから、コストの上昇を価格に転嫁する動きも広がっております。これらの情勢に加え乳業界においては、2019年4月からの生乳取引価格の引き上げを含む大幅なコストアップもあり、厳しい環境が続いております。人口減少や高齢化の進展とともに世帯構成は変化し、ライフスタイルが変わる中で消費者の価値観は多様化しており、機能を訴求する商品の投入が増える一方で、低価格を訴求する商品の投入も見られるなど、多様な需要に対応する商品や市場が新たに生まれております。

このような経営環境下、当社グループは「グループ中期経営計画2019」に基づき、収益基盤の複数化およびキャッシュ・フローの最大化に取り組み、機能性ヨーグルトなどの高付加価値商品およびチーズなどの主力商品の販売拡大に伴うプロダクトミックスの改善、ニュートリション事業分野におけるマーケティング投資の継続による規模の拡大、ならびにグループ経営資源やバリューチェーンの最大活用によるグループ総合力の強化等に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、売上高は154,698百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は5,069百万円（前年同期比6.5%増）、経常利益は5,894百万円（前年同期比16.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,825百万円（前年同期比13.2%増）となりました。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結会計期間より、雪印メグミルクインドネシア株式会社(PT. MEGMILK SNOW BRAND INDONESIA)及びアダーデライツオーストラリア有限会社(Udder Delights Australia Pty Ltd)は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

セグメントごとの当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。なお、セグメントごとの売上高につきましては、外部顧客に対する金額を記載しております。

#### ① 乳製品

当セグメントには、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂、ニュートリション事業（機能性食品、粉ミルク等）等の製造・販売が含まれております。

売上高は61,091百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は2,757百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

売上高は、バターは安定供給に引き続き努める中で、堅調に推移しました。油脂はプロモーション活動による需要喚起に取り組みましたが、市場の縮小が続いたことから減収となりました。チーズはキャンペーンやレシピ提案などのプロモーション活動の効果もあり増収となりました。機能性食品は特定保健用食品の毎日骨ケアMBPがマーケティング投資の継続により伸長しました。これらの結果、当セグメント全体では増収となりました。

営業利益は、宣伝促進費の効率的な運用に取り組んだ効果が増益要因としてあったものの、固定経費やオペレーションコストが増加したことなどから減益となりました。

#### ② 飲料・デザート類

当セグメントには、飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザートの製造・販売が含まれております。

売上高は72,305百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は1,456百万円（前年同期比57.8%増）となりました。

売上高は、飲料は市場低迷の影響もあり減収となりました。ヨーグルトは保有する乳酸菌「ガセリ菌SP株」の内臓脂肪を減らす機能性を訴求するTVCMやプロモーション活動を行いました。価格改定後も機能面・価格面を訴求する商品は堅調に推移したことから増収となりました。デザートは新商品の発売等、商品力の強化に取り組んだものの減収となりました。これらの結果、当セグメント全体では増収となりました。

営業利益は、生乳取引価格の引き上げの影響などによる原材料コストやオペレーションコストの増加があったものの、価格改定の実施に伴う販売単価差の影響や宣伝促進費の効率的な運用に取り組んだ効果などにより大幅な増益となりました。

## ③ 飼料・種苗

当セグメントには、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子の製造・販売が含まれております。

売上高は12,373百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は638百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

売上高は、飼料の販売物量増加等により当セグメント全体では増収となりました。

営業利益は、牧草・飼料作物種子の売上減少や、原価上昇の影響等により減益となりました。

## ④ その他

当セグメントには、共同配送センター事業、不動産賃貸事業等が含まれております。

売上高は8,927百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は238百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債および純資産の状況

## (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して2,434百万円の増加となりました。

これは主に、投資有価証券が減少した一方で、現金及び預金や受取手形及び売掛金、のれんが増加したことなどによります。

## (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して2,048百万円の増加となりました。

これは主に、賞与引当金が減少した一方で、支払手形及び買掛金や電子記録債務、その他に含まれる未払費用が増加したことなどによります。

## (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して386百万円の増加となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金が減少した一方で、非支配株主持分や利益剰余金が増加したことなどによります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、16,291百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの原因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは8,610百万円の収入（前年同期は3,041百万円の収入）となりました。

前年同期との比較では、主に売上債権の増減額およびたな卸資産の増減額が減少したことなどにより5,569百万円の収入増となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは3,516百万円の支出（前年同期は2,269百万円の支出）となりました。

前年同期との比較では、主に有形及び無形固定資産の取得による支出が増加したことなどにより1,247百万円の支出増となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは3,278百万円の支出（前年同期は2,749百万円の支出）となりました。

前年同期との比較では、主に短期借入金の純増減額が減少したこと、また、長期借入金の返済による支出が増加したことなどにより529百万円の支出増となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日の決算短信で公表した業績予想値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,366	16,353
受取手形及び売掛金	74,727	76,490
商品及び製品	40,673	41,202
仕掛品	991	1,289
原材料及び貯蔵品	14,026	13,701
その他	4,446	4,173
貸倒引当金	△368	△376
流動資産合計	148,863	152,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	46,970	46,754
機械装置及び運搬具（純額）	53,225	53,273
土地	49,849	49,927
その他（純額）	12,258	13,025
有形固定資産合計	162,304	162,980
無形固定資産		
のれん	—	801
その他	3,206	3,223
無形固定資産合計	3,206	4,024
投資その他の資産		
投資有価証券	35,491	32,748
繰延税金資産	2,925	2,809
その他	7,039	6,862
貸倒引当金	△384	△380
投資その他の資産合計	45,072	42,040
固定資産合計	210,582	209,045
資産合計	359,445	361,880

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,930	60,678
電子記録債務	5,091	6,200
短期借入金	19,957	20,248
未払法人税等	1,848	1,151
賞与引当金	4,990	2,756
その他	27,105	29,693
流動負債合計	117,924	120,729
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	35,835	35,434
繰延税金負債	1,291	1,168
再評価に係る繰延税金負債	3,956	3,956
役員退職慰労引当金	20	20
ギフト券引換引当金	88	86
退職給付に係る負債	9,396	9,274
資産除去債務	1,713	1,661
その他	10,435	10,380
固定負債合計	72,738	71,982
負債合計	190,662	192,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,586	17,606
利益剰余金	116,474	117,299
自己株式	△4,942	△4,944
株主資本合計	149,117	149,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,471	9,577
繰延ヘッジ損益	△154	△189
土地再評価差額金	8,818	8,818
為替換算調整勘定	8	△71
退職給付に係る調整累計額	△1,966	△1,884
その他の包括利益累計額合計	17,177	16,250
非支配株主持分	2,487	2,957
純資産合計	168,782	169,169
負債純資産合計	359,445	361,880

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	150,984	154,698
売上原価	113,935	117,211
売上総利益	37,049	37,486
販売費及び一般管理費	32,291	32,417
営業利益	4,757	5,069
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	158	321
持分法による投資利益	187	308
保険戻戻金	—	214
その他	194	173
営業外収益合計	544	1,020
営業外費用		
支払利息	122	56
為替差損	—	48
その他	133	89
営業外費用合計	256	194
経常利益	5,046	5,894
特別利益		
固定資産売却益	12	7
その他	6	—
特別利益合計	18	7
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	149	331
減損損失	22	118
その他	12	51
特別損失合計	184	501
税金等調整前四半期純利益	4,880	5,400
法人税等	1,410	1,467
四半期純利益	3,469	3,933
非支配株主に帰属する四半期純利益	90	108
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,379	3,825



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	3,469	3,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	△899
繰延ヘッジ損益	39	△35
為替換算調整勘定	△259	100
退職給付に係る調整額	47	77
持分法適用会社に対する持分相当額	4	4
その他の包括利益合計	△134	△752
四半期包括利益	3,335	3,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,241	3,073
非支配株主に係る四半期包括利益	93	107

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,880	5,400
減価償却費	3,857	4,025
減損損失	22	118
持分法による投資損益 (△は益)	△187	△308
のれん償却額	—	23
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△197	5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,465	△2,234
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△202	164
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	45	△90
ギフト券引換引当金の増減額 (△は減少)	△3	△2
固定資産除売却損益 (△は益)	137	324
受取利息及び受取配当金	△162	△323
支払利息	122	56
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,681	△1,316
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,135	△36
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,968	2,649
その他	3,739	1,398
小計	4,737	9,852
利息及び配当金の受取額	218	381
利息の支払額	△104	△90
法人税等の支払額	△1,809	△1,532
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,041	8,610
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△22	—
定期預金の払戻による収入	5	—
貸付けによる支出	△28	△16
貸付金の回収による収入	29	13
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,317	△3,491
有形及び無形固定資産の売却による収入	64	90
投資有価証券の取得による支出	△5	△98
その他	5	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,269	△3,516
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	316	△15
長期借入金の返済による支出	△233	△401
自己株式の取得による支出	△3	△1
配当金の支払額	△2,651	△2,652
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△174	△204
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,749	△3,278
現金及び現金同等物に係る換算差額	△68	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,045	1,819
現金及び現金同等物の期首残高	14,076	14,303
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	168
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,030	16,291

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	58,125	71,439	12,296	141,861	9,123	150,984	—	150,984
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,285	10	219	3,514	3,169	6,683	△6,683	—
計	61,410	71,449	12,515	145,375	12,292	157,668	△6,683	150,984
セグメント利益	2,871	922	696	4,490	232	4,722	34	4,757

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業及び不動産賃貸事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額 34百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	61,091	72,305	12,373	145,770	8,927	154,698	—	154,698
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,212	24	241	3,478	3,215	6,693	△6,693	—
計	64,304	72,329	12,615	149,248	12,142	161,391	△6,693	154,698
セグメント利益	2,757	1,456	638	4,853	238	5,091	△22	5,069

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業及び不動産賃貸事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額 △22百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

乳製品セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間より、アダーデライツオーストラリア有限会社(Udder Delights Australia Pty Ltd)は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は830百万円であります。